

『時事直言』 No.1446 2020年1月7日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

適格株価情報

私がアドバイスをしている投資家の皆様に、私の株の売り買いのアドバイスは、「今言ったことは今のアドバイスで明日は通用しない」と言っている。

昨日1月6日「こー一番！」(有料情報誌・午前中発信)で「今日が買い時」(明日では遅過ぎるという意味)と述べた。

昨日27,000円を割るところまで下げたニッケイ平均は今27,500円を超えている。

正に明日(今日)では遅過ぎたのである。

昨年12月に入ってから株価の先行きについて聞かれる度に12月29日に株価が大きく上がれば株価は天井無しで上がるが、大きく下げれば2万円まで下がると述べ、すべては12月29日で決まるが、私の予想では大きく上げて来年(今年)の大相場を予告することになると述べた。

そして12月29日予想通り、大きく上げたのを確認したうえで、「来年(2021年)ニッケイは史上最高値38,957円に達する」と予告した。

本日アメリカ時間6日アメリカの上下両院で次期大統領を選出する為の各州選挙人の大統領選出証明書を開封して次期大統領が正式に決まる。

議会が開かれる議事堂前でトランプ支持のデモ隊が暴徒化し議事堂に侵入する事態となり、議事が一時中断された。

議事堂内では女性が一人射殺され、前代未聞の事態となった。

アメリカ合衆国憲法が定める手続に従って、トランプの抵抗にも関わらずバイデンが正式に次期大統領に選出されるが、アメリカは分断、内乱状態になり、バイデン政権は国際的信頼を失うことになる。

1月6日の大混乱を予想して誰も本日の株価は下がるだろうと思っていたが、私は昨日「買え」、明日(今日)では遅過ぎると言った。

私の自慢は「肝心な時を絶対に逃さない」ことだ。

一度や二度ではないので誰もが「何かある」と思うのは当然だ。

「あるに決まっていますよ。」とだけお答えしておく。

「こー一番！」の熱烈な読者Kさんは毎日のようにメールと電話で質問してくるが、11月からの儲けでマンションが買えることになってとご夫婦とお子さんを連れてわざわざハワイまで来られた。

11月の2,000万円の元手が12月末に9,000万円になったのだから喜ぶのも無理はない。

ご本人が名前を伏せてくれれば証券会社からのステートメントのコピーを下さると言うので、機会を見て私がどのようにアドバイスしたかをご披露したいと思っている。

繰り返して言うが、市場はManipulation(価格操作)以外の何物でもない。

「素人も玄人も絶対に儲からない」と言ってもいいだろう。

年明け早々、決して好感を持たれないことを承知でこんなことを書いてしまった。

本当に金儲けをしたい方々だけの為です！

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。